

## しゅん工・操業に向けた様々な取り組み

〈厳冬期訓練〉

## 【はじめに】

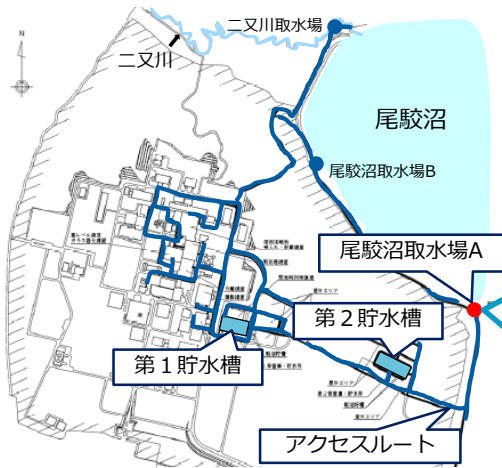
当社は、事故を起こさないよう、様々な安全対策を講じていますが、それでも起きてしまった時に備え、事故の拡大を防ぎ、地域の皆さまへの影響をできる限り小さくするため、1年を通じて様々な訓練を繰り返し行っています。

2月17日には、厳冬期の厳しい環境下で、尾駮沼からの取水と放水訓練を実施しました。

## 【尾駮沼からの取水と放水訓練】

重大事故等により建屋から放射性物質が放出された時、その拡散を抑制するために敷地内にある、2万m<sup>3</sup>の貯水槽2基から放水砲で放水を行います。その貯水槽への水の補給が必要となった場合には、敷地外水源である尾駮沼から取水させていただくことを計画しています。

尾駮沼から水中ポンプと大型移送ポンプ車で水を汲み上げ、放水砲で放水するという動作が迅速に行えるよう、訓練で習熟を図っています。



尾駮沼に水中ポンプを投入する様子



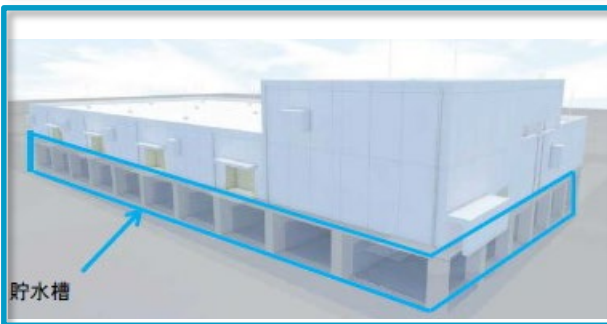
大型移送ポンプ車により送水する様子



放水砲で放水する様子

## 貯水槽のスペック

|      |  |
|------|--|
| 形式   | 地下式  |
| 大きさ  | 約113m (東西) × 約52m (南北)<br>× 約15m (地上高さ) 2基 |
| 貯水量  | 約20,000m <sup>3</sup> × 2                  |
| 建築構造 | 耐震構造、鉄筋コンクリート造                             |



貯水槽の外観 (イメージ)

3月は、停電を想定した電源車による給電訓練、水素爆発の発生を防止するための可搬型空気圧縮機の起動訓練、六ヶ所村内の居住地から事業所まで徒歩で参集する訓練も実施する予定です。

引き続き、地域の皆さまにご安心いただけるよう、様々な事象を想定した訓練を繰り返し実施し、万が一の際にも迅速、確実に対応できるよう取り組んでまいります。